

インド最新動向レポート（2023年2月）

◎今年の昇給率は10.3%に減速

人材コンサルティングのAON（エーオン）は2023年のインド企業の昇給率を10.3%と予測した。22年の昇給率は10.6%だった。

◎物流ドローンで潜在顧客発掘へ 新興スカイドライブ、スズキも出資

愛知県豊田市のスカイドライブ社が物流ドローン（小型無人機）の製造・販売でインド市場への参入を検討している。スズキと昨年3月、「空飛ぶクルマ」の事業化で協定を締結し、現地でのさらなる協力強化に前向きだ。

◎アジア開発銀行 5年でインドに最大250億ドル供与

アジア開発銀行（ADB）は向こう5年間でインドに200億～250億米ドル（約2兆7,000億～3兆4,000億円）を供与する方針。

◎1,600億円規模の投資 グジャラート州

グジャラート州政府は製造業振興策として繊維、化学、農業機械、電動リキシャ（三輪車）などの幅広い分野で合計985億2,000万ルピー（約1,600億円）を投じる。州政府は1万人以上の雇用創出を見込む。

◎今年の世界経済は印と中国がけん引

国際通貨基金（IMF）はインドと中国が今年の世界経済の成長の半分以上を占めるとの見通しを明らかにした。

◎政府 本年内の半導体工場着工を期待

インド政府は2023年末までに少なくとも1カ所の半導体工場を着工させる考えだ。今年、半導体企業の工場設置計画を承認する。

◎タイヤ市場1.6兆ルピー規模へ 業界団体予測、2030年度までに

インドのタイヤ業界の売上高は、2030年度までに約1兆6,500億ルピー（約2兆6,900億円）を突破する見通し。

◎ボーイング インドに部品供給の拠点設置へ

米航空機大手ボーイングは2,400万米ドル（約32億円）を投じて、部品に特化した物流拠点をインド国内に設置する計画だ。

◎電子決済取引額 4年で3.1倍に拡大

2021年度のインド国内の電子決済取引総額が719億7,680万ルピー（約1,150億円）と、2018年度比で3.1倍に拡大。

◎日本への既製服の輸出拡大に意欲

インドの衣料品メーカーは、日本・インド包括的経済連携協定（日印CEPA）によるインド製の既製服の免税措置を活用しようとしている。衣料品輸出促進協会（AEPIC）のナレンドラ・ゴエンカ会長は、世界で4番目に大きい既製服の輸入国である日本への輸出拡大に意欲を示した。

◎日産とルノーが6億ドル投資 EV含む6車種共同開発・生産へ

日産自動車は仏ルノーとインドで向こう3～5年間に計6億米ドル（約800億円）を投資すると発表した。

◎ブラザー工業 工作機械の生産拠点を設置

ブラザー工業はバンガロール近郊のトゥムクル工業団地に工作機械の工場を建設すると発表した。

◎印のロシア産原油輸入 4カ月連続最多更新

インドの1月のロシア産原油輸入量が日量127万バレルとなり、4カ月連続で過去最高を更新した。

以上

NakajimaConsultancyServicesLLP

OfficeA-22,GreenParkMain,AurobindoMarg,NewDelhi-1100016